

## 新型コロナウイルス感染症に対する当院の対応とお願い

当院では、今回の新型コロナウイルス感染症に対して、感染制御医師（ICD）、感染管理看護師（ICN）、感染管理チームを中心とした院長直属の新型コロナウイルス感染症対策本部を組織し、体制設備の面から以下のような適切な対策を講じています。

病（やまい）は時と場所を選びません。このような状況の中で、一般の患者さんが安心して受診していただける環境を整えておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

### 1. 来院時のお願い

- 新型コロナウイルス感染を含む感染症対策の基本は、風邪や季節性インフルエンザと同様に「手洗い」と「マスクの着用を含む咳エチケット」です。ご自身の予防だけでなく、ほかの人につさないためにも、手指のアルコール消毒や咳エチケットにご協力をお願いします。
- くしゃみや咳が出るときは、「マスクを着用する」、「マスクがない場合はティッシュやハンカチなどで鼻と口を覆う」、「とっさの時は袖や上着の内側で覆う」などの対応をお願いします。
- 新型コロナウイルスの感染が疑われる場合、病院を受診される前に、各地の保健所に設置されました新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）に必ずお問い合わせをお願いします。

### 2. 当院の対応

#### ① 外来患者さん

- 発熱のある患者さんは、発熱のない紹介患者さん、当院通院中の患者さんと、正面玄関で入り口を分け、いわゆる「空間分離」を行っています。
- 同様に、救急患者さんの場合でも、発熱で受診した患者さんはそうでない患者さんと診察待合場所を分け対応しています。

#### ② 入院患者さん

- 入院患者さんへの面会は原則禁止とさせていただいております。
- 外来患者さんとは接しないよう、できるだけ検査やリハビリの時間帯をずらしています。

#### ③ 職員

- 標準予防策に加え、状況に応じて接触感染・飛沫感染予防対策をとっています。
- 専門スタッフが指導を行い、職員自身における体調管理や除菌の徹底を行っています。

### 3. 当院の役割について

- 大阪府には、感染症病床を持つ第二種感染症指定医療機関が6病院ありますが、増え続ける新型コロナウイルス感染症患者さんをその6病院だけで対応することは不可能となっています。
- 当院は公立病院として地域医療に貢献することが使命です。今般の非常事態に際しましても、新型コロナウイルス感染の蔓延から地域の皆さんを守ることが病院に課せられた大きな使命と考えます。
- つきましては、今後、大阪府からの要請に応じまして、当院でも新型コロナウイルス感染症患者さんの入院受け入れを行うことがあります。
- 入院される場合、新型コロナウイルス感染症患者さんは、一般の外来やロビーを経由することなく、所定の病棟に入院します。専門機関として万全の態勢で対応いたしますので、ご安心ください。

(2020. 3. 23)